

## 令和6年度 あおもり創造学テーマ一覧 no.1

所属部	年次	探究テーマ名
夜間部	2	防災について知る
午前部	2	赤ちゃんと防災
午前部	2	防災について
午前部	2	おいらせ町の災害
午前部	2	大事なペットといざという時の備え避難について
午前部	2	ペットと防災
午前部	2	アニメで学ぶ防災
午前部	2	今後の災害の対策について
午前部	2	防災グッズについて
午前部	2	減災を少しでも増すために
午前部	2	楽に作れる食べ物
午前部	2	人間と防災
午前部	2	災害が起きたらどう対処すればいいのか
午前部	2	地域別 いろいろな防災訓練
午後部	2	災害時の対応について
午後部	2	人を一人でも多く救うために
午後部	2	地震と津波の被害の差
午後部	2	私たちができる災害のための備え
午後部	2	日本の建物の耐震設計はどうなっているのか
午後部	2	災害後の心的障害について
午後部	2	自然災害に対して危機感がな人が多いのはなぜか
午後部	2	防災グッズについて
午後部	2	地震が起きたとき、どのようにすればよいか
午後部	2	災害時のペットについて
午後部	4	おすすめの防災グッズと使い方
午後部	4	災害が発生してから起こりうる出来事と避難する際の注意点(防災グッズ込み)
午後部	4	避難所や被災地のボランティア活動
午後部	4	現在、切迫している災害とそれに対する防災・減災の仕方
午後部	4	災害時の停電への対応と備え
午後部	4	防災グッズについて
午後部	4	防災時に役にたつご飯もの
午後部	4	避難の仕方について
午後部	4	防災リュックと備蓄品を用意しよう。
午後部	4	外出先で被災した際の帰宅
午後部	4	避難できない人の心理を理解する
午前部	3	避難の際のマンホール被害
午前部	3	自然災害の種類、危険性、対策

## 令和6年度 あおもり創造学テーマ一覧 no.2

所属部	年次	探究テーマ名
午前部	3	避難所を快適にする製品
午前部	3	避難所に対する不安を減らすために
午前部	3	避難所生活に必要なものと準備しておくべきもの
午前部	3	防災グッズの重要性
午前部	3	おすすめの防災グッズ
午前部	3	災害時のおすすめ100均防災グッズ
午前部	3	避難する際どこに避難するか、どのルートで避難するかの確認方法
午前部	3	素早く避難するため、そして避難先で困らないように常備しておくの良いものについて
午前部	3	おすすめ防災グッズ
午前部	3	避難の仕方、タイミングについて
午前部	3	冬に災害が起こった時の避難や防災グッズ
午前部	3	災害時のライフラインについて
午前部	3	自分の命を守ろう
午前部	3	命を守って生き延びよう
午前部	3	東北にてかい地震が来る確率はどんな感じなのか
午前部	3	防災食の作り方
午前部	3	普段から持ち歩ける防災グッズは何か？
午前部	3	避難所生活について
午前部	3	各災害の避難の仕方について
午前部	3	災害時に役立つ便利グッズとその応用
午前部	3	災害が起こったときの避難について
午前部	4	避難所を快適に過ごす製品や工夫
午前部	2	災害時に備えて自分たちが今できることは
午前部	2	災害時の対応
午前部	2	なぜ災害は発生するのか
午前部	2	災害時用の食料と普段の食料の違いは何なのか
午前部	2	防災グッズの種類
午前部	2	防災グッズの必要性について
午前部	2	避難所生活で必要なもの
午前部	2	防災グッズの使い方について
午前部	2	はじめやすい防災・減災
午前部	2	季節に合わせた防災対策とは？
午前部	2	いろんな種類の防災グッズ
午前部	2	ダンボールベッドのメリット・デメリット
午後部	3	自主避難先の決め方
午後部	3	災害時のペットについて～ペットと避難するには～
午後部	3	非常食について

## 令和6年度 あおもり創造学テーマ一覧 no.3

所属部	年次	探究テーマ名
午後部	3	防災道具～あったら便利なべんりグッズ～
午後部	3	小さい子を連れた避難について
午後部	3	ハザードマップはどのように作られているか
午後部	3	避難所における食事について
午後部	3	日本の災害の特徴
午後部	3	避難所の不便とその解消法
午後部	3	避難所生活をよりよくするための工夫
午後部	3	段ボールベッドについて
午後部	3	マンホールトイレについて
午後部	2	水害について詳しく知ろう
午後部	2	災害時の行動
午後部	2	防災のための事前準備について
午後部	2	家の中でもできる減災は何か
午後部	2	災害からの復興について
午後部	2	土砂災害の原因や起こる事による被害
午後部	2	各災害時の避難方法や避難先はどうしたらよいか
午後部	2	八戸市の防災の取り組み
午後部	2	能登半島地震を経験して見えた減災・防災
午後部	2	日頃から、防災、減災して被害を少なくしよう。
午後部	2	なぜ日本は自然災害が多いのか
午後部	2	災害後の片付け、掃除はどのようにするのか
午後部	2	場所ごとの津波の被害
午後部	2	防災グッズについて
午後部	2	水害時の準備・避難方法
午後部	2	避難所生活でストレスを溜めないようにするにはどのような工夫が必要か
午後部	3	ハザードマップはどうやってできているのか
午後部	3	地震に強い家を建てる
午後部	3	缶詰の様々な食べ方
午後部	3	被災時にどんな保存食が適しているのか
午後部	3	津波の規模
午後部	3	避難場所での生活
午後部	3	避難バックのカスタム
午後部	3	災害の種類と二次災害
午後部	3	地震は、なぜ起きるのか
午後部	3	非常食の保存期間
午後部	3	台風が来る理由
午後部	3	非常食の種類はどのくらいあるのか

野田村道の駅



野田漁港で水産業の再興について説明を受けている様子

# 岩手県野田村 徒歩の震災学習 ～自分の命を守るためには～



防潮堤を散策



防潮堤上から美しい海



鎮魂の祈りを捧げる  
大津波記念碑

災害に直面した時の  
具体的な行動のイメージは？  
自分の命？家族の命？誰かの命？  
究極の選択、どれも正解。  
日常から「備える」大切さ

## 令和5年度 1年次遠足 実施要項

- 1 目的 (1) 生徒相互および職員と生徒間の交流を図る。  
(2) 防災意識を高め、社会生活におけるルールや公共マナーを学ぶ。  
(3) 震災学習を通して、震災について知ると共に私たちがこれから生きていく上で意識していくべきことについて学ぶ。
- 2 日時 令和5年7月14日(金) 8:30~14:00
- 3 場所 岩手県野田村役場  
岩手県野田村(九戸郡)九戸郡野田20-14 TEL:0194-78-2111  
おおのキャンパス  
岩手県九戸郡洋野町大野58-12-3 TEL:0194-77-3202
- 4 参加生徒 75名(午前部:33名、午後部:40名、夜間部:2名)
- 5 引率教員 8名(1年次正副担任:8名)

6 日程

時刻	行程
8:15	学校集合
8:30	学校出発
9:15	野田村 道の駅 トイレ休憩
9:50	野田村漁港 着 見学・語り部
11:20	野田村発
12:00	おおのキャンパス着 昼食
13:15	おおのキャンパス発
14:00	学校着

令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	夜間部	2	体験談から学び、これからできる対策について
2	夜間部	2	避難時に起こりうる出来事について
3	夜間部	2	災害の種類と対策
4	夜間部	2	避難所で起こりうる出来事について
5	午前部	3	災害が起きたら必要な防災グッズ
6	午前部	3	避難生活中に役立つスキルや知識
7	午前部	3	避難所での生活を快適にする製品
8	午前部	3	災害が起きたときの対処法
9	午前部	3	ペットを災害から守るには
10	午前部	3	災害時の電気・ガス・水道について
11	午前部	3	災害のライフライン
12	午前部	3	おしゃれな防災グッズ
13	午前部	3	防災グッズ
14	午前部	3	災害時にあった方がよい物
15	午前部	3	防災グッズと使い方
16	午前部	3	防災グッズ
17	午前部	3	自然災害と注意点
18	午前部	3	避難所を快適にする製品や工夫
19	午前部	3	これは必須！持っておくべき防災グッズ（年齢別）
20	午前部	3	日本に地震が多い理由
21	午前部	3	持っておいたほうがよい防災グッズポイント
22	午前部	3	地震の予知、予測は可能なのか
23	午前部	3	青森の地震について
24	午前部	3	避難所に避難する時の持ち物について
25	午前部	3	地震が起こる原因
26	午前部	3	津波について
27	午前部	3	防災において用意するもの
28	午前部	3	地震の二次災害
29	午前部	3	地震のメリット in Japan
30	午前部	3	災害時私達ができること
31	午前部	3	災害時のデマがもたらす悪影響
32	午前部	3	防災バックの保存場所と入れるべきもの
33	午前部	3	非常用持ち出し袋の中身を確認しよう
34	午前部	3	津波について・・・避難時で起きた出来事
35	午前部	3	用意しておいた方がよい防災グッズ
36	午前部	3	避難所で健康に過ごすための方法
37	午後部	3	津波と洪水の発生
38	午後部	3	災害時に自分たちができることを考えよう
39	午後部	3	新井田川で起きる災害
40	午後部	3	オススメ防災グッズと避難所で役立つ知恵
41	午後部	3	南部町の防災
42	午後部	3	災害毎の避難のしかた
43	午後部	3	私の災害時の水道、電気、ガス
44	午後部	3	人工的に起こる災害
45	午後部	3	三戸町の防災について

令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(個別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
46	午後部	3	もしまた大型地震が起こったら
47	午後部	3	私の町の防災レポート
48	午後部	3	オススメ防災グッズ
49	午後部	3	僕の防災レポート～八戸市で災害に遭ったら～
50	午後部	3	地震(津波発生)による死因調べ
51	午後部	3	災害が起きた際の予測や対応について
52	午後部	3	防災グッズを買う時のポイント
53	午後部	3	避難する時のバッグの中身とあれば便利なもの
54	午後部	3	災害時の電気、ガス、水道
55	午後部	3	防災グッズとその使い方
56	午後部	3	お薦めの防災グッズ
57	午後部	3	災害グッズ
58	午後部	3	お薦めの防災グッズ
59	午後部	3	災害に備えて用意しておくべきもの
60	午後部	3	災害時、逃げる時のポイント
61	午後部	3	災害グッズ・地震への備え
62	午後部	3	避難場所
63	午後部	3	緊急連絡網
64	午後部	3	お薦めの防災グッズ
65	午後部	3	断水した時のための対策
66	夜間部	3	避難所で健康に過ごすための方法
67	夜間部	3	避難所に避難する時の持ち物について
68	夜間部	3	災害時私達ができること
69	午後部	4	一人の時に地震が起きたら・・・
70	午後部	4	地震発生時の対処法
71	午後部	4	災害時の生存方法
72	午後部	4	津波発生時の避難ルート
73	午後部	4	災害時のペット救済法
74	夜間部	4	災害時のガス、電気、水道はどうなる？
75	夜間部	4	防災リュックについて

令和5年度 あおもり創造学テーマ一覧(グループ別)

No.	所属部	年次	探究テーマ名
1	午前部	2	自分の地域の避難所の特徴について
2	午前部	2	過去の災害から学ぶ防災と減災の方法について
3	午前部	2	登校中や授業中、下校中に大きな地震が起きた時の対処法
4	午前部	2	避難所の共通点
5	午前部	2	いろいろな災害から学べる役に立つ知識について
6	午前部	2	過疎地域の高齢者の避難について
7	午前部	2	避難所の特徴・基準について
8	午前部	2	津波がきたときの避難について
9	午後部	2	八戸市の一次避難所と二次避難所、そしてペットの避難所について
10	午後部	2	東日本大震災前後の避難所の設備の変化について
11	午後部	2	身近な災害からの被害を受けて、今後できること
12	午後部	2	非常食について
13	午後部	2	八戸市はどのくらいの避難所があるのか
14	午後部	2	避難所でのトラブルについて
15	午後部	2	下校中の避難について
16	午後部	2	避難所での食事について
17	午後部	2	災害時予想される二次被害について
18	午前部	4	学校にある防災グッズと活用

## 令和4年度 生徒/地域住民合同防災訓練 実施概要

- 1 目的 地震や津波の災害が多発している地域で今後災害の切迫性が高い地域でもあることから、地域住民と合同で防災訓練を行い、生徒の災害に適切に対応する能力を高め、津波避難ビルとしての役割についても考える
- 2 日時 令和4年6月11日(土) 10:00~12:00
- 3 場所 本校
- 4 参加者 本校生徒及び教職員、諏訪地区地域住民
- 5 アドバイザー 青森県防災士会八戸支部 館合 裕之(たてあいひろゆき)氏  
略歴 八戸市福祉部高齢福祉課課長  
総務省消防庁委嘱の「災害語り部」として、八戸市内の小中学校から全国の自治体まで、各地で講演

### 6 概略

時間	内容	教職員の動き	生徒の動き	地域住民の動き
9:45			生徒出校	
~9:55		SHR終了後職員室に戻る	SHR	
9:55	地震発生	教頭が地震発生の放送 「地震発生、地震が収まるまで机などで頭部を保護してください。」 担任が各HRへ移動。	安全確保 ※地震が収まるまで机などで頭部保護。	安全確保
~10:00	地震が収まる	担任が避難準備の指示。	カバン・スマホ等をもって避難準備。	
10:00	津波警報発令	教頭は、津波警報放送 「ただいま津波警報が発令されました指示に従って避難してください」(2回繰り返し)		学校玄関前に避難
10:02	地域住民が避難する	生徒をグラウンド側に誘導し館花下交差点に移動。 ※担任:逃げ遅れがないか点呼確認及び体調不良者の確認。 ※生徒指導部:避難誘導及び逃げ遅れ生徒の探索。	グラウンド側から館花下交差点に向けて避難。 自転車避難者も同様。交差点まで移動後、帰校。	玄関から、スリッパに履き替え特別棟4階【視聴覚室】へ避難開始 ※夜間はガラス戸を破壊して入る事を説明。
~10:10	住民避難完了	*館花下交差点で待機職員が確認。		点呼・体調不良等の確認
~11:00		担任・副担任は、生徒を誘導し交差点まで往復。	防災士によるレクチャーと講評をグラウンドで実施。	防災士によるレクチャーと講評のためグラウンドに移動。
	終了後	HRへ移動し、振り返りアンケートを記入		
~12:00	SHR	諸連絡		地域住民解散



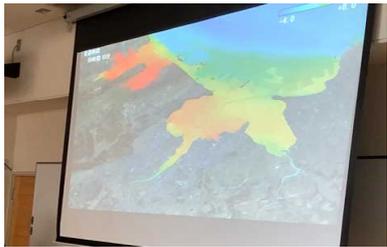
防災士の指導の下  
地域住民と避難訓練  
をする生徒たち



地域住民へ  
避難方法の説明



避難後、ハザードマップ  
を確認する地域住民



防災士による  
レクチャーと講評

